

2020年8月21日

2020年度「自立援助ホーム支援助成」助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人ノースガイア

代表者・役職名 氏名 岡田真也

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

高校卒業資格取得のためのインターネット事業環境設備

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2010年に学習塾を設立し、多くの子どもの教育に関わってきました。その中で家庭環境が整わず生活や学習ができない子どもたちが多くいることがわかり、2017年に法人化し、2018年8月にホームを設立。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

高校卒業資格を取得するためには、レポート学習とインターネット学習の二種類があり、現在パソコンが不足しているため、交代で使用しているがバイト等により使用時間が重複してしまい学習が予定通りに進んでいない。したがって、ホーム内の学習時間を固定できるようパソコンの設置をし、全員が平等に学習できる環境を整えたい

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

通信制高校での高校卒業資格を取得することには、文科省が定めるNHK放送視聴が必要である、また学習の進捗を確認する為、2名に1台の割合でパソコンの設置をしたい。また、設置場所はホーム内の学習ルームで、夜間の学習時間で利用する。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

ホームでは、昨年より4名の高校生がいました。昨年は、1名が無事に卒業を迎えることができた。また残りの3名も全員が進級することができた。高校の学習以外にも進路についての調べや、就職先についての調べもできるようになった。WordやExcelの検定にも合格し、就職の幅を増やすことができたことも大きな成果としてでている。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今回、パソコンを導入したことによる課題は、セキュリティ面と使用時間の厳守を強化すること。

7. 参考資料

支援対象事業で作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし